



# ベンチャー企業のビジネスモデル及び映像を中心としたイベントマネジメントの研究

経営情報学部 経営学科  
教授 矢澤 利弘 (やざわ としひろ)

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 1641号室  
Tel 082-251-5178 (代表) Fax 082-251-9405 (代表)  
E-mail tyazawa@pu-hiroshima.ac.jp



専門分野： ビジネスモデル論、ベンチャー企業論、コンテンツビジネス

キーワード： ビジネスモデル、起業、事業創造、プロジェクト・マネジメント、映画、コンテンツ、イベント

## ● 現在の研究について

現在まで取り組んできた研究分野は、大きく4つあり、①ベンチャービジネスや企業における新規事業開発などの諸活動とビジネスモデルについての研究、②映画祭を事例としたイベントとフェスティバルのマネジメントについての研究、③映像コンテンツのプロデュースとマネジメントについての研究、④映画産業についての人文科学と社会科学を融合させた学際的研究、などに大別されます。いずれの分野においても、アントレプレナーとして、ゼロから事業を立ち上げるための諸活動にフォーカスして、ケーススタディ及び理論的、実証的な研究を進めています。

①については、創業期の企業を孵化させるべくインキュベーションマネージャーとして大学発ベンチャー企業の支援や中小企業の事業革新支援などを手掛けてきました。この分野では、『起業家・ベンチャー企業支援の実務』（ぎょうせい、共著）などの著書を出版しております。②については、現在、映画祭のマネジメントモデルの構築に向けた実証研究を継続して行っており、成果の一部は『短編映画祭における人材育成の現状と課題』（広島経済大学経済研究論集、2015年3月）や『野外上映型映画祭の現状と展開方向』（同、2015年12月）などの論文で発表しています。③については、映像コンテンツの会計実務と映像ビジネスの諸問題について国際比較の見地か

らの研究を進めています。④については、ヨーロッパ諸国の映画産業について、経営学的なアプローチによる研究を行っています。

## ● 今後進めていきたい研究について

今後もベンチャー企業の成長とビジネスモデルの研究を深化させていくと同時に、大規模な国際イベントや特徴あるイベントについての望ましいマネジメントのあり方についての研究を進めていきます。

## ● 地域・社会と連携して進めたい内容

地域・社会との連携については、以下の2点を中心に進めていくことを希望しています。①新しいビジネスモデルを活用した起業活動の支援および企業における新規事業の開発支援、②地域における各種イベントやフェスティバルについての企画立案と実施、特に映像コンテンツを活用した映画祭や映像祭などの諸活動に関する企画立案と実行支援を進めていきたいと考えています。

## ● これまでの連携実績

他大学を含め、大学主催の社会人向け公開講座の講師としては、例えば「財務諸表の読み方」や「1日で完結させる簿記」といった会計の入門講座から、「映画と映画祭で学ぶプロジェクトマネジメント」や「会計監査とは何か」といった身近な事例から経営学を学ぶことを目的とした講義を数多く手掛けてきました。また、公認会計士としての実務経験から、地方自治体の職員向けの連携講座や監査委員に対する研修会、税務部門の職員に対する研修会といった会計及び監査実務に関する研修会の講師などを歴任してきました。